

【新家元制度における報酬について】

新家元制度には6つの報酬がある、ということをお話しました。6つの報酬とは、「やりがい」「ポジション」「スキルアップ」「仲間」「お金」「人間力」です。

お金のソムリエ協会では、このなかでも特に「やりがい」が一番大切にしているので、「協会理念に共感していること」を講師として認定する際の必須条件としています。

また、教えるという「ポジション」や、そのための「スキルアップ」も重要なので、ポジションとスキルアップに価値を見出していただけると、認定時の必須条件としています。

さらに、「仲間」との協力関係も不可欠ですので、これも認定時の必須条件としています。

これらすべてを手に入れると、「人間力」がひとりでの備わるようになります。

ところで、6つの報酬の中では、5番目のお金だけは毛色が少々違って、貢献した結果として、「協会から還元」される仕組みになっています。

お金については、勉強会でお話したように3：3：4の配分となりますが、認定講師の皆さんに直接関係してくる集客3割とコース主催3割について、一步踏み込んで解説します。

■ 3割のウェートを占める「集客」について

どんなに素晴らしい講師であっても、どんなに質の高いコンテンツであっても、集客をできなければセミナーは始まりません。

そして、できるだけコストをかけずに集客することが理想的ですので、多くの協会が次のステップを踏んでいます。

step1:FB友達化を通じた信頼関係構築

step2:FB友達とブログからのメルマガ（ライン@）のリスト集め

step3:メルマガ配信による購読者教育

step4:入門セミナーへの集客

仮にフェイスブックで400名の友達を作れたら、プレゼント作戦等を展開して100件のメルマガリストを獲得できます。

そして、メルマガ配信をしばらく継続すると、その100人のうち1人がセミナーに参加していただけます。

あるいは、様々なセミナーや交流会に参加して、地道にオフライン活動を行えば、その結果として、一部の方が入門セミナーに出席していただけます。

このように、入門セミナーに参加する人を1人集めるだけでも大変です。

だからこそ、このウェートが3割を占めるということになります。

一方で、集客に貢献したのが誰かを判断することは、実際には困難です。

そこで、今現在は、申込時のアンケートで機械的に判定する方式を採用しています。

アンケートに記載がない場合に、例外として集客貢献を認めるのは次の2ケースです。

①申込み者がメルマガかライン@またはブログの読者であることを認定講師が疎明し、そのメルマガやブログの記事経由で入門セミナーを知って申し込んだ可能性が高いと協会が認定した場合。

②オフラインで勧誘したことを認定講師が協会本部宛に事前報告している場合（あとになって、あの受講生は自分が勧誘したので・・・云々はNGとします）

※認定講師とは、「講師認定条件セルフチェックシート」を提出のうえ協会から認定を受け、お金のソムリエセミナーに登壇しているマスター以上の講師です。

なお、セミナー参加についてのアフィリエイトは風評リスクが大きいので行いません。

■ 3割のウェートを占める「コース主催」とは何か？

お金のソムリエコースについては、計6回19時間のセミナーと12時間の懇親会を卒なくこなし、受講生をフォローしなければならないので、コース登壇講師としての役割は大切です。

一方で、お金のソムリエ入門セミナーにて「お金のソムリエメソッドとお金のソムリエコースの魅力」を上手に伝えなければ、本コースにご参加いただけないので、入門セミナーの5時間と、決済完了までのフォローもそれなりに重要です。

そこで、主催した入門セミナーの受講生が、スケジュールや場所の都合で、他の認定講師のコースにフル参加した場合には、3割のうち1割を入門セミナー主催講師に配分する方式をベースにします。

例えば、横浜の入門セミナーに参加した夫婦がコースに申込み、夫婦ともに大阪のコースにフル参加した場合には、横浜の認定講師が1割、大阪の認定講師が2割を受け取ります。

あるいは、横浜の入門セミナーに参加した受講生がコースに申込み、夫婦の1人が大阪、1人がさいたまにフル参加した場合には、横浜1割、大阪1割、さいたま1割となります。

また、横浜の入門セミナーに参加した夫婦の一人が横浜、もう一人が大阪でフル受講する場合には、横浜2割、大阪1割となります。

なお、入門セミナーでは、司会者やサポーターの役割が極めて重要ですが、そこまで考慮することは実務上は非常に困難です。また、2期以降は、原則として「入門セミナー主催回数累計≦サポート回数累計」としますので、持ちつ持たれつと理解してください。

■ その他の金銭周りについて

その他の金銭周りについても、一旦次のように整理しておきます。

(1) 他の認定講師にお金のソムリエコースへの登壇を依頼する場合の謝礼体系

お金のソムリエコースを複数の認定講師が分担した場合についての方向性を整理します。

全14回のうち生セミナーは6回ですが、メイン講師はその一部を他の認定講師に委任できます。

その場合の登壇謝礼を一律3万円/回とします（協会本部で清算して還元します）。

(2) お金のソムリエコースサポーターへの謝礼体系

お金のソムリエコースにサポーター参加した認定講師への謝礼についても、入門セミナー同様に一律5千円/回とします。

ただし、やむを得ない事情により、片道100km以上離れた遠隔地の認定講師にサポートを依頼する場合で、かつ、サポート目的だけで応援に来ていただく場合には、往復交通費実費相当額を謝礼金額とします。

なお、認定講師以外の倶楽部メンバーに対しては、謝礼なしを原則とします。

サポーターへの謝礼については、セミナー当日に領収書と引き換えに手交してください。

※以上の整理については、運営していく過程で適宜修正する場合がありますので、ご了承ください。